## 琉球ガラスの未来を拓く

# 株式会社グラスアート藍



■お問い合わせ先: 株式会社グラスアート藍〒905-0004 沖縄県名護市中山 211-1 T. 0980-53-2110 F. 0980-53-2119 M:info@glassart-ai.jp HP: www.glassart-ai.jp





#### 「minamo」「ウージ」が 2014 年度グッドデザイン賞受賞!

このたび、私ども(株)グラスアート藍が制作する琉球ガラス作品のうち2点が、2014年度 グッドデザイン賞を受賞いたしました。受賞作は「minamo」と「ウージ」の2作品。いずれも沖 縄の自然をモチーフとした作品です。

伝統的な琉球ガラスの手法に、弊社が独自に開発したガラスタイルの新技術を加え、今までにない素材感を生み出した点と、100%再生可能なガラスの特性をフルに生かしたサスティナブルな点が高く評価され、今回の受賞となりました。

グッドデザイン賞は、「人間(HUMANITY)---もの・ことづくりを導く創発力」「本質(HONESTY)---現代社会に対する洞察力」「創造 (INNOVATION)---未来を切り開く構想力」「魅力 (ESTHETICS)---豊かな生活文化を想起させる想像力」「倫理 (ETHICS)---社会・環境をかたちづくる思考力」の5つの理念のもと、「くらしを、社会を、豊かにしうるデザインであるか」という視点から審査され、沖縄伝統工芸界においては、1983年と1996年の琉球漆器作品の受賞のみで、琉球ガラスでは初の受賞となります。

今回の受賞作が持つ、モダンで洗練されたデザインと存在感は、これまでの琉球ガラスを超える ものであると自負しております。晴れの日を祝う集いの席のインテリアに、おもてなしの食卓に、 とっておきの贈答品に、沖縄を代表する新世代の工芸品として、時代を越えて末長くご愛用いただ ければ幸いに存じます。

# RYUKYU AI GLASS 『晴れの日の器』シリーズ

「minamo」「ウージ」

2014年6月発売の新作。従来の琉球ガラス器にはない、インテリア感覚あふれる卓越したデザイン性と、上質かつ重厚な素材感が魅力です。

#### 「minamo」



グラスアート藍代表の寿紗代と、生活プロダクトデザイナー 村澤一晃氏とのコラボレーションにより誕生した1枚。 ふりそそぐ沖縄の太陽を受け、きらめく海の水面のゆらぎ。 ガラスならではの透明な輝きの中に、水紋が濃淡に重なり合い、 深みのあるデザインを実現。ぜひ光に透かして、その美しさを お確かめください。

・横長皿 400mm×200mm 15,000 円 (税別)

・中皿 295mm×295mm 15,000 円 (税別)

・大皿 475mm×475mm 38,000 円(税別)

#### 「ウージ」



青空の下、吹き抜ける風にそよぎ、緑一色に染まるウージ畑。 サトウキビの葉が描く同心円の波紋様と、やちむん (焼物) を思 わせるような深い緑の色合いが輝きを放ち、重厚な美しさを奏で ます。

・横長皿 400mm×200mm 12,000 円(税別)

・中皿 295mm×295mm 12,000 円 (税別)

・大皿 475mm×475mm 36,000 円 (税別)

・販売・購入ルート : 直営店舗、自社オンラインショップ http://www.glassart-ai.jp/

#### 受賞作品公開予定

【県内】 ・第28回沖縄県トータルリビングショウ

会期:10/17(金)~10/19(日) 会場:宜野湾コンベンションセンター

【県外】 ・国際見本市「LIVING&DESIGN 2014」 会期:10/15(水)~10/17(金) 会場:大阪国際会議場

・グッドデザイン賞受賞展「グッドデザインエキシビション 2014 (G展示)」

会期:10/31~11/4 会場:東京ミッドタウン



## やんばるの森の工房から、「ai」をこめて。

グラスアート藍は、1998年の創業以来、寿紗代が率いる 工房として、常に新たな風を発信してまいりました。 ガラスを通して沖縄の精神と文化を伝えたい・・・そんな 願いを込めて、一枚一枚、丁寧に手作りし、世界に二つと ない製品を制作。社名に含まれた「ai」という言葉にも、 数々の熱い想いが込められています。



## 「藍」は、沖縄の自然

グラスアート藍の作品のモチーフの多くは、沖縄の海、空、 草花などの風物や、そこに宿る自然の色合い。 沖縄の自然を代表する海の色「藍」の文字を社名に冠した 理由がここにあります。



### 「愛」は、地元への愛

やんばるの森に抱かれた名護市内の工房を活動拠点に、 この地での「ものづくり」にこだわり、できる限り県内に 作品の原材料を求め、ガラスを通じて沖縄の精神と文化を 表現しています。



#### 「I」は、自分らしいこだわり

他にはどこにもない、ここでしか出逢えないもの。 大量生産するのではなく、けっして妥協せず一点ずつ制作 者自身の手で作ったもの。そんな自分らしい姿勢を守り続 けています。



## 「EYE」は、独自の視線

個性と魅力を見極めるアーティストとしての眼、使いやす さを見つめる生活者としてのまなざし、細心の注意を払っ て品質を見届ける職人としての視点を大切にしています。



## 「アイ」は、進取の精神

五十音の最初の二文字である「アイ」には、沖縄伝統工芸である琉球ガラスに常に新風を吹き込む先駆者でありたいと願う、フロンティア・スピリットが込められています。



## 琉球ガラスは、ここから変わる

#### グラスアート藍のめざすもの

それは、伝統を大切に守りつつ、今までにない魅力を放つ、琉球ガラスの新たなる可能性。 たとえば、都会のセレクトショップで。たとえば、高級リゾートのギャラリーで。「これ素敵だな」 「贈り物にいいな」と手に取ってみたら、グラスアート藍の琉球ガラスだったというような。 そんな出逢いができる作品を創造してゆきたいと思います。

#### 1. 「伝統」と「革新」の融合

沖縄の文化や自然に根ざした、沖縄伝統工芸のひとつ、琉球ガラス。 その製法を大切に継承しながらも、琉球ガラスの新たなスタイルを模索し、より新鮮なデザイン、より斬新な素材感、より美しいフォルムを生み出し、すぐれた芸術性と機能性を併せ持つ作品づくりをめざしています。



#### 2.「土産物」からの脱却

米国統治下の米軍関係者からのニーズ、沖縄海洋博時代の 観光客からの需要、近年の沖縄ブームと雑貨人気などを 歴史的背景に生産されてきた琉球ガラス。

その土産物としての位置付けを脱し、毎日の食卓や住まいを演出する高品質な工芸品としての存在感をめざしています。



#### 3. 「次世代」の人材育成



灼熱の窯と向き合う危険を伴うことから、3 K とも呼ばれるガラス職人という過酷な職業。そんなイメージを払拭すべく、進んで地元出身の若者たちを採用し、伝統工芸に携わる者としての誇りと技術、ものづくりの感動を伝え、次世代を担う人材を育成するとともに、地域貢献をめざしています。

#### 作家プロフィール

#### ガラスアーティスト 寿 紗代(Sayo Kotobuki)

#### 【学歴】

成安女子高校 美術コース・日本画科卒業 嵯峨美術短期大学 環境デザイン科卒業 インドネシア国立芸術大学留学



※詳細プロフィール HP 掲載 <a href="http://www.glassart-ai.jp/">http://www.glassart-ai.jp/</a>TOP ページ右バナー「作者の想い」をクリック

#### 経歴

1996年 共栄ガラス工房にて修行

1998年 7月グラスアート藍設立(沖縄県糸満市にあるレストラン倉庫を借り「グラスアート藍」誕生)

県外にて初個展

2000年 1月工房を新築移転(沖縄県東村高江)

ホテル依頼にて沖縄サミットにてフランス大統領、カナダ首相に記念贈呈品の制作

2001年 リュウボウにて作品展

2003年 2月絵の勉強にバリ島へ短期留学

2004年 8月バリ島移住

バリ島国立芸術大学にて本格的にバリ絵画を勉強

2006 年 インドネシア・バリ島にて現地法人「Glassart AI in Bali」設立

5つ星ホテル(ブルガリ)で作品を高く評価され採用されるなど海外で活躍

2008年 9月活動の本拠地を沖縄に戻す

「琉球ガラス生産・販売組合」加盟

2010年 5月名護市中山に工房&セレクトショップ「琉球のやさしい手仕事」オープン

2012年 沖展にて「浦添市長賞」受賞

名護商工高校にて「社会人講話」

2013年 伊勢ガラス館プロデュース

名護商工高校にて「社会人講話」

名護市商工会「経営塾」での講演

2014年 中小機構主催「パワーアップセミナー」パネリストとして出演

#### 制作部長

#### 知念 孝平 (Kohei Chinen)

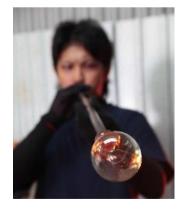
平成3年 7月18日生まれ(名護出身)

【学歴】名護商工高校 生産システム化卒業

2010年3月高校卒業後グラスアート藍入社。

地元名護を愛し、日々進化するため全力で取り組むのがモットー。 今では代表寿の片腕として制作の現場を率いている。

「ガラスタイル」部門の開発当初から携わり、現在では制作部長として後輩の指導を行い幅広く力を発揮している。



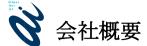
株式会社 グラスアート藍(担当:喜舎場)

〒905-0004 沖縄県名護市中山 211 番地 1

TEL: 0980-53-2110 FAX:0980-53-2119

E-Mail: info@glassart-ai.jp URL: http://www.glassart-ai.jp/





株式会社 グラスアート藍 (Glass Art AI Co,,Ltd.)

【所在地】 沖縄県名護市中山 211-1

T. 0980-53-2110 F. 0980-53-2119

Mail: info@glassart-ai.jp

Web: http://www.glassart-ai.jp/http

営業時間 9:30~18:00 定休日:火曜日(祝祭日は営業)

【設立年】 1998 年 7 月

2013 年 8 月法人化

【資本金】 2,000,000 円 【代表】 寿 紗代 【従業員数】 6 名

【会社理念】 常に感性を磨き、お客様に感動と喜びを与える 創造的なものづくりを目指し、全社員がいつも

> 笑顔で、感謝と向上の精神を持てる豊かな会社 を実現し地域社会の発展に貢献する。

【事業内容】 ①製造部(製造事業)

琉球ガラス食器 ・ 建材 ・ インテリア

②サービス事業

直営店舗・ガラス体験・ネット販売・卸販売

③コンサルタント事業

店舗プロデュース・アートディレクション



工房&直営ショップ



#### 会社沿革

1998年 グラスアート藍設立

2000年 工房を新築移転 (沖縄県東村高江)

2004年 バリ島移住

2006 年 インドネシア・バリ島にて現地法人「Glassart AI in Bali」設立

2008年 活動の本拠地を沖縄に戻す

「琉球ガラス生産・販売組合」加盟

2010年 名護市中山に工房&セレクトショップ「琉球のやさしい手仕事」オープン

2011 年 沖縄県の事業「工芸製品新ニーズ事業」に採択 「ガラスタイル」開発開始

2012年 4月「OKINAWA型産業応援ファンド」採択

10月沖縄県トータルリビングショウに建築建材「RYUKYU AI GLASS」ガラスタイル発表

2013年 2月「経営革新計画」承認

4月「OKINAWA型産業応援ファンド」2期目採択

8月株式会社「グラスアート藍」に変更

10月沖縄県トータルリビングショウ2期連続出展

11月「Interior lifestyle」に出展(東京ビッグサイト)

2014 年 4月「OKINAWA 型産業応援ファンド」3期目採択

6月 「Interior lifestyle」に出展(東京ビッグサイト)

10月 2014 年度グッドデザイン賞受賞(『晴れの日の器』から『minamo』『pージ』2作品受賞)

#### 商品紹介

## 食器—Tablewear



#### 【販売・購入ルート】

- 直営店舗
- ・自社ネット販売
- ・卸 (商品限定)
- (左) ハイビスカスシリーズ グラス 2,800 円(税別)
- (中上) 万華鏡皿 (クリア) 15 cm角 2,800 円 (税別)
- (中下) minamo Ⅲ 400×200 15,000 円 (税別)
- (右) ラグーングラス 2,600円(税別)

## 建材—Building material



#### 【販売・購入ルート】

- 直営店舗
- ・自社ネット販売
- BtoB
- (左) 四季 Komado 10,000 円 (税別・箱込)
- (中央) minamo 花台 オーダー制作
- (右) マンション看板 500×500 厚み 12 mm オーダー制作

## 体験—Experience



#### 【体験場所】

- ·直営店舗(工房内)
- ●要予約(当日希望の方要問合せ) ①グラス作り1790円(税別)~ ②お皿作り1670円(税別)~ ③サラダボウル作り2860円(税別)~

色パーツ1つ300円~ オプションで選べ完全オリジナル 作品が作れる。

●受取り翌日 10 時以降 or 郵送 (送料別途)

株式会社 グラスアート藍(担当:喜舎場)

〒905-0004 沖縄県名護市中山 211 番地 1 TEL: 0980-53-2110 FAX:0980-53-2119

E-Mail: info@glassart-ai.jp URL: http://www.glassart-ai.jp/

